

委託費の支払いの基本的な考え方

1. 委託費月額単価の算出

(1. 訓練設定時： 月額単価(上限額)の算出方法)

①1月当たりの訓練設定時間が100時間以上か？

YES

【委託費等の月額単価を使う】
(委託費等の月額単価)
=「**月額単価(A)**」

NO

【訓練時間の割合で按分する】
(委託費等の月額単価) × 訓練設定時間 ÷ 100時間
=「**月額単価(B)**」

(2. 訓練終了時： 中途退校月の月額単価の算出方法)

②訓練を中途退校しているか？

NO

月額単価(A)
又は(B)を使う

YES

③中退日までに訓練を行った日数が16日以上又は
訓練時間数が96時間以上に該当するか？

YES

月額単価(A)
又は(B)を使う

NO

【訓練設定時の月額単価を按分する】

月額単価(C) =

(月額単価(A)又は(B)) × (中退者が発生した月の訓練開始日から中退日までに訓練を行った日数) ÷ (中退者が発生した月の訓練すべき日数
－ 訓練終了日以降の訓練すべき日)

2. 委託費支払い対象の決定

(3. 月額単価支払い対象の確認: 80%要件を確認)

中途退校がない場合

中途退校がある場合

④1月当たりの訓練受講時間が
あらかじめ定められた訓練時間の
80%に相当する時間か？

YES

支払対象とする

NO

⑥中途退校者が発生した月について
中退日までの訓練受講時間が、
あらかじめ定められた訓練時間の
80%に相当する時間か？

YES

支払対象とする

NO

⑤訓練開始日から訓練終了日までの全
訓練期間における訓練時間の80%に
相当する時間の訓練を受講したか？

YES

⑦訓練開始日から中途退校までの期
間における訓練時間の80%に相当す
る時間の訓練を受講したか？

YES

NO

月額単価の支払対象とならない

【委託費算出のポイント】

1. 委託費月額単価の算出

(1) 訓練設定時

1月の訓練設定時間が100時間に満たない場合、100時間を分母として月額単価を按分する。

(2) 訓練終了時

中途退校した場合、当該中退月の訓練を行った日が16日以上又は96時間以上あるか考える。

→ある場合、1. の単価で支払う。

→ない場合、1. の単価を当該月の訓練すべき日を分母、訓練を行った日を分子にして按分する。

2. 委託費支払い対象の決定

あらかじめ定められた訓練時間(中退した場合、中退日以降は除く。)の80%を受講しているか確認する。

→受講してれば支払い対象

→受講していなければ、全期間(中退した場合、中退した日まで)の80%を受講しているか確認する。

※ 3か月を越える訓練コースについて、3か月を単位として支払いを行う場合の算出方法及び年度をまたぐ場合の算出方法については、委託費支払い通知も併せて参照されたい。